



開催期間：2016年8月1日（月）～10月31日（月）

ロキグループの傘下にあるロキテクノは、（公財）日本ユニセフ協会（以下ユニセフ）主催で開催される「TAP PROJECT JAPAN 2016」に資金パートナーとして協賛いたします。

ロキグループの社会貢献活動について

私たちロキグループは、2009年からユニセフへの寄付を継続して参りました。

その背景には、「すべての人たちがいつも笑顔でいられるように、未来の子どもたちに豊かな水で守られた地球環境、安心して暮らせる社会を残していけるように」との想いを実現するために支援を行っています。

マダガスカルの子どもたちに笑顔を！安全な水を届けよう。

TAP PROJECT とは、世界中の人々が「清潔で安全な水」を使えるよう、ユニセフの活動を支援するプロジェクトです。8月1日（日本の水の日）から3か月間、協力して頂けるレストランに募金箱を設置してもらい、レストランで提供された水に対してお客様に募金の協力をお願いしています。

TAP プロジェクトを通じてお寄せいただいた募金は、アフリカのマダガスカルにおけるユニセフの水と衛生事業に活用されています。2016年のTAP PROJECTによる募金は、同じマダガスカルの農村部のコミュニティや小学校に井戸や給水施設、トイレの整備、衛生習慣の普及に役立てられます。

いまでも世界には井戸すらもなく、不衛生な水しか手に入らない地域があります。

汚れた水と衛生環境が原因となって、下痢から脱水症状に陥り毎年2,000人以上の子どもたちが命を落としています。

日本では、蛇口をひねれば、当たり前のように清潔で安全な水が出てきます。わたしたちが毎日飲んでいるコップ1杯の水で、世界の子どもたちを1人でも多く守れたらという想いで、TAP PROJECT は始まりました。

2007年にニューヨークで始まり、現在、世界各地で展開しています。



(C) 日本ユニセフ協会 / satomi matsui

これまでの支援により、マダガスカル農村部の47校の小学校とコミュニティに対し、45カ所の井戸や貯水槽、そして142基のトイレが設置されました。さらに、ソーラーパワーを利用して水をくみあげてコミュニティに給水する簡易水道設備が2基完成しました。これらの活動により、約2万人の子どもたちとその周辺の地域住民が、清潔で安全な水を利用できるようになりました。さらに、学校に飲料水用の浄水フィルターの配布、衛生教育の普及などが実施されています。

「TAP PROJECT JAPAN 2016」開催概要

■ 開催期間：8月1日（月）から10月31日（月）

■ 支援先：ユニセフがマダガスカルで行う「水と衛生の支援活動」に活用されます。

■ 参加方法：① T A P参加飲食店レストランで募金

期間中、TAP PROJECT 2016に参加しているレストランへ行き、テーブルにサーブされた無料の水に対して募金を行う。

② オンライン募金

オンラインでクレジットカードやインターネットバンキング、コンビニで募金の申し込みを行う。

③ 当プロジェクト周知イベントに参加

8月18日（木）～21日（日）までの5日間、東京・代官山 T-SITE 内 GARDEN GALLERY にて、

水滴を操作して水を日本からマダガスカルに運ぶ体験型ゲームイベントを開催。

ゲーム参加者は任意の募金を行う。

※詳細は「TAP PROJECT 2016」ホームページをご覧ください 【<http://www.taproject.jp/>】

